

令和 5 年度 学校関係者評価委員会報告

北見医師会看護専門学校 令和 5 年度自己評価結果に基づき、令和 5 年 6 月 8 日（木）開催の学校関係者評価委員会における評価と意見を以下のとおり報告いたします。

学校関係者評価委員 6 名の評価と意見

自己評価が適切になされているかを 5 段階で評価

5：そう思う、4：ややそう思う、3：どちらでもない、2：あまり思わない、1：思わない

大項目	平均点 (令和 4 年度)	自己評価 の平均点	意見・感想等
I. 教育理念・ 目的・卒業 生像	4.7 (4.6)	4.0	・学校の理念・目的等が明らかにされている。 ・概ね適切になされている。 ・看護師養成のための学校の方針、教育者としての責務を学生 1 人ひとりに目を向けている風土をととてもよく理解できた。また卒業生の就労後学校での学びの成果を評価の視点とし教育への課題をフィードバックされていることがとても良い。
II. 学校運営	4.7 (4.6)	4.3	・教員間のコミュニケーションが良く、相談しやすい関係作りを期待する。 ・教職員の新旧においては、どの職場も同じような問題を抱えている。教職員間の連携、調整状況を細かく分析し課題をもって運営していると思う。
III. 教育活動	4.5 (4.6)	4.0	・施設内外の教育に携わる様々な調整に尽力し学生 1 人ひとりの学習成果状況を細かに確認し不足な点を具体的に対策し支持している。 ・各科目のねらいと実践がかみ合っていないことについてのジレンマが見てとれる。例えば 10 年、20 年前の学生の質の違いに戸惑うこともあるのではないかな。 ・研修の更なる充実に期待する。 ・適切に実施している
IV. 学生指導等	4.5 (4.6)	4.1	・学習困難者への対応は工夫をおこない、苦労の様子がうかがえた。 ・学生個々の状況を把握し、看護師の素質を見出し、伸ばしていくのは教員の能力である。経済的問題で学習継続が困難な学生には継続できるよう救済する対応を今後も継続してほしい。 - 学生本人が自己の将来像をどのように考え目標に向き合うのかを見いだせない学生は就労後、職場においても問題意識が低いと思う。 ・パワハラが問題となった看護学校のニュース等を見ると、学生指導に迷うことがあると思う。驚きや感動、共感しか人を動かす手立てはないかもしれないが、粘り強く取り組むよう期待する。 ・再実習の学生のために実習施設の確保等に苦慮されていた。
V. 学修成果	4.0 (4.6)	4.0	・令和 4 年度の国家試験合格率の低下はとても残念である。国家試験対策に向けた課題を明確にしていると考えられる。 ・国家試験対策を十分取組まれているので、合格率の上昇に期待する。 ・概ね適切になされている。 ・卒業生も対象として国試対策をしているのを初めて知った。良い支援である。

VI. 学生支援	4.2 (4.6)	4.4	・概ね適切になされている ・学生個々のパーソナリティを理解した上で様々な努力をしていると思う。学生は、委員会の意見にもあった「親に叱られたことのない子供たち」である。これまでの狭い環境（世界観）の中で育まれた人生観は未だ乏しくコミュニケーション能力さえも十分ではない。相手に対し「気づき」が重要となる看護職に就く学生たちに多くのことを学んでもらいたい。
VII. 教育環境	4.3 (4.6)	4.0	・概ね適切になされている ・学びやすい環境づくりは学生を集めるためにも必要なことである。無線LANは是非整備を進めて欲しい。
VIII. 学生募集	4.8 (4.4)	4.6	・学生確保が一番の課題であると思う。苦勞している様子がうかがえた。 ・大変熱心に取り組んでいることを伺い、自己評価に自負が表れていると読み取れた。 ・オープンキャンパス、ホームページの充実など学生とともに取り組んでいるところが良い。
IX. 財務	4.5 (4.2)	3.5	・収支状況は適切に対応している。 ・課題もみられるが、粘り強い対応を期待する。
X. 法令等の 遵守	4.7 (4.6)	4.4	・自己評価を行い、課題を明らかにしていた。 ・学校運営の要である本項目について取り組みは良好であると評価する。
XI. 社会貢献 地域貢献	4.6 (4.6)	4.5	・地域の看護職者への学校の支援として、国家試験不合格となった准看護師に学習課題・国家試験対策などを実施していた。今後も地域支援の継続を望む。 ・ボランティア精神は大切である。中には自己中心的な学生もいる。例として学校近隣に無断駐車をして地域に迷惑をかけていた。社会的にも罰せられる行為であることを自覚できるとよい。誰かのために何かをしたいとの満足感を高めるだけではなく、日頃から社会貢献とはどのようなことかを考えられ、行動できるとよい。 ・他校卒業生に対しても学習の機会を提供していた。

【重点課題】

1. 教職員の連携強化

- ・教務室内の物理的環境の整備。各教員の動きが見えて気付ける、声をかけやすい、相談しやすい環境に調整、整備していく。
- ・業務においては教職員個々が納得し合意の上で協力し進めていく。

2. 看護学生としての基礎学力の向上を図る

- ・学生個々の背景と学習習慣を把握する。定期的に学習状況を把握（学習ノート提出）し指導していく。
- ・看護関連学習と基礎学力（読解力等）を並行して学習できるよう指導し学力アップにつなげる。